

「親父」は怖いもの？

「地震・雷・火事・親父」という表現をご存知ですか？大人の方であれば知っている方は多いと思いますが、小・中学生のお子さんになると、この言葉を耳にしたことがないという方もみえるかもしれませんね。「地震・雷・火事・親父」とは、昔の人が世の中で特に怖いとされているものを順に並べて、調子よく表現した言葉です。

以前の日本の家族制度において、年長の男性に「親父」が家の事を仕切るといった家長制度と呼ばれるものが一般的な時代がありました。その中で「親父」は、絶対的な権限を持っていて、地震のような自然災害と同様に恐れられていたため、このような言葉が生まれたと言われています。またそれとは逆に、自然災害を恐れ、怖い「親父」並みに警戒するために生まれた言葉であるという説もあります。しかしながら、時代とともに以前の家長制度は順に薄れ、現在では、家の事を男性が1人

で決定するのではなく、家族みんなで相談して決める家庭が増えてきたように思います。中には、「我が家の決定権は母親にあり」というような、女性が決定権を持っている家庭もあるかもしれませんね。

家庭のさまざまな事柄を家族みんなで相談して決めていく事は、男女共同参画社会の実現のために掲げている、「男女の人權の尊重」、「家庭生活における活動と他の活動の両立」に通ずるものがあり、とても良いことだと思います。

しかし、このように男女共同参画社会が推進されてきた現代において、依然問題となつているものに、ドメスティックバイオレンス(家庭内暴力・DV)があります。「地震・雷・火事・親父」が「地震・雷・火事・DV」と置き換わらないように、お互いの人権を尊重し合い、男女共同参画の社会を推進していただきたいと思います。

〈他人事じゃない!? 怖~いトラブル〉

消費生活のお話

秘書広報課広報広聴係 (内線186)

多様化する支払方法

私が支払ったお金はどこへ行ったの？

プリペイドカード(略称:プリカ)

コンビニなどで販売されています。プリカには英数字が記されていて、ネット上にその英数字を入力することで、支払った金額分のサービスが受けられる仕組みです。

電子マネー

インターネット上の仮想カードや、電子マネーの機能を持つ携帯電話などに、お金を入金します。実店舗やインターネット上の店舗などで残高の範囲内で支払いができる仕組みです。クレジットカードやコンビニのチケット購入機を利用する入金方法もあります。

近年、多様化した支払方法を悪用した新たな詐欺の手口が急増しています。便利だからといって、仕組みをよく理解しないまま支払いを行うのは大変危険な行爲です。

少しでも不安に思ったら、消費生活相談窓口にご相談ください。

消費生活相談窓口

場所 市役所1階 広報広聴係
 常設 月~金曜日・午前9時~午後4時
 巡回相談 毎週金曜日・午前10時~午後4時 (予約優先)
 ※相談には、できるだけ契約者本人がお越しください。

